



近畿日本鉄道株式会社
古市検車区

天美車庫

天美南3-15-41 非公開
※本来、立ち入り禁止。

いくつもの時代をこえて

意外と知られていない松原の魅力を阪南大学国際コミュニケーション学部神尾セミの皆さんと探索・お伝えする「松原ええとこ発見隊」。

今回は、本来立ち入り禁止の「近畿日本鉄道株式会社 天美車庫」を特別に取材させていただきました。

電車の秘密おしえます

る貴重なレンガ作りの車庫となりました。空襲や阪神大震災などに耐えて今ここにあるのですよ。



〈K〉電車は毎日、入庫時に洗います。洗浄線で機械洗浄し、先頭部分は手作業で洗います。

従業員は天美・古市・六田車庫全体で80人、天美だけだと15人が働いています。

〈E〉15人、思ったより少ないですね。

〈K〉午前8時30分から次の日の午前8時30分までの24時間、間に5時間の仮眠をとってローテーションで回っています。

〈E〉(一回)：(仮眠5時間)。その中でも一番大変な業務は何ですか？

〈K〉周期検査のうち、45日検査とあって、営業線を走ってきた電車のモーター点検やエアで機器内部の汚れをとる作業を半日かけてします。モーターや車輪の熱気がこもる所での作業なので夏場は本当に大変ですよ！

あとは、何か電車の事故やトラブルがあったらすぐに駆けつけて応急処置をしないといけません。消防署みたいな感じですね。



〈E〉この表彰状は？

〈K〉あ、これは社内ソフトボール大会のときのものです。(笑)

その隣は、無事故無災害記録とあって、労働災害が990万時間なかったという証です。

やはり電車も人も、安全が第一ですから！今回は広報の取材ということで許可が下りましたが、本来は立ち入れませんので、ご了承ください。

普段は経験することのできない貴重な体験をした、ええとこ発見隊。歴史ある建物、そしてその時代から続く意志を守る人たち。

皆さん、電車に乗ったときは、そういうロマンスに思いを馳せてみてはいかがでしょう。満員電車だって違う気持ちで通勤・通学できるかも…？

